

NPO 法人

甲子園浜

# 海浜の自然環境を守る会ニュース

第 72 号 2022 年 9 月 15 日

663-8143 西宮市枝川町 19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

## ★★TOYOTA SOCIAL FES !! Presents★★ 甲子園浜の海岸を守ろうプロジェクト

9 月 11 日 (日) 10 時いつもの甲子園浜清掃と TOYOTA SOCIAL FES!! が合体、甲子園浜の海岸を守ろうプロジェクトを実施しました。

TOYOTA SOCIAL FES!! は、楽しみながら自然を守るといふ想いのもと、2012 年から全国 47 都道府県で活動しています。

今回兵庫県では、甲子園浜の海岸を守ろうプロジェクトとして、NPO 法人海浜の自然環境を守る会とともに、清掃活動と生き物観察会・遺跡探検を同時に行いました。



遊歩道あずまやに受付を並んで設置。集まったおよそ 200 人を前に、神戸新聞社鈴木氏の司会で、前田理事長、西宮市花と緑の課船越課長、トヨタ販売店代表島田氏があいさつのち、海浜清掃を行いました。

打ち上げられていた大量の漂着物が、おおぜいの手で燃やすゴミ、燃やさないゴミに分けて袋に入れられ、浜はすっかりきれいになりました。

そして遊歩道にあげたゴミをヤマサ環境エンジニアリングが回収に来てくれました。



トヨタフェス参加者は浜の東へ移動して、住民の運動で甲子園浜が残ったという歴史を学び、その昔には遊園地があった跡の岩場で生き物探しをしました。



岩をそっとめくるとカニやヤドカリが慌てて逃げ出すのが面白くて、夢中でた

くさんつかまえていました。

センター正面玄関に、トヨタの災害時給電車両が展



示されました。公園に遊びに来ていた子どもたちから歓声が上がっていました。

地元からの参加は 92 名。トヨタフェス一般参加 102 名。トヨタ販売店から 21 名、神戸新聞社から 5 名、オンライン参加は 21 名でした。

## ♥ いいもの見つけ ♥

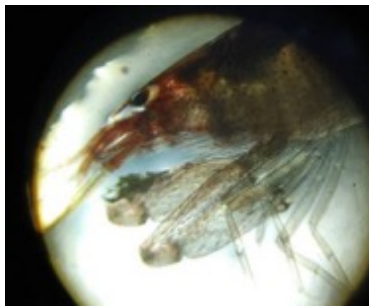
## セジロムラサキエビ

6月13日、大阪湾生き物一斉調査第1日目のことです。甲子園浜自然環境センター前で調査をしました。

直径30cmくらいの石をめくると、小さなカニが大慌てで逃げていきました。窪みの海水の中では、黒っぽいヨコエビがたくさん逃げ回っていました。その中に1匹だけ目立った色をした生き物がのろのろと泳いでいました。とっさに両手ですくい取りました。それは、ヨコエビと同じくらいの小ささです。写真では大きく見えますが、12mmしかありません。



講師でお招きしていた西宮市立貝類館の渡部哲也先生におたずねすると、



「それは、セジロムラサキエビです。」と教えてくださいました。

背中に白い筋がある紫色の海老なので、「背白紫海老」と書きます。

セジロムラサキエビは、テッポウエビのなかまです。普段、第一歩脚を内側に折りたたんで、肘を前に突き出したような格好で生活しています。敵が近づいたら、はさみを振り上げながら



パチンと音を鳴らして威嚇するのかなと想像しました。

向山 裕子

### 活動報告

7月17日 ブルーサンタになって清掃 249名



(含対岸のサーファー100人)  
可燃ゴミ 250kg、  
不燃ゴミ 10kg

8月11日 生活クラブ生活協同組合主催

「甲子園浜を知ろう！」に参加

8月20日 夜の観察会 22名



投網に挑戦

9月7日 上甲子園中学トライやる

9月11日 TOYOTA SOCIAL FES!! Presents

甲子園浜清掃 220名、可燃ゴミ 150kg、  
不燃ゴミ 10kg (ヤマサ環境エンジニアリング調べ)

### 活動予定

9月18日(日) 日本自然保護協会主催

「砂浜生き物クエスト in 甲子園浜」に参加

10月26日(水) 学文中学トライやる

11月6日(日) 伊藤ハム合同クリーンアップ



海浜清掃時にいつもボランティアでゴミを収集して下さる(株)ヤマサ環境エンジニアリングが、海をきれいにする活動が評価され、「海の日」国土交通大臣表彰を受けられました。おめでとうございます。

\*ハマゴウ・甲子園浜\*

2022.9.11

